

(公財)きょうと京北ふるさと公社	平成29年度経営計画 兼 経営努力結果
-------------------------	--------------------------------

基本事項

所管局課	産業観光局農林振興室農政企画課	本市出えん金	25,000 千円
基本財産/資本金	30,000 千円	本市出えん率	83.3 %

「外郭団体のあり方の抜本的な見直し」に係る「今後の方向性」

方向性	自律化	目標年度	平成32年度
------------	-----	-------------	--------

「今後の方向性」に向けた基本的方針

業務面	<p>公益事業における公社事業の柱として、農地・農業に伴う地域課題に積極的に関わり、「農学校」としての機能の発揮など、事業を通じてそれらを守り支える取組を展開するとともに、空き家紹介による人の流入など地域の活性化に繋がる取組をより強める。また、地域公共交通事業については、将来に亘って地域の足となれるよう効率的な運行を目指し取り組む。</p> <p>収益事業については、貸館事業として公社施設が住民により多く利用いただけることを目指すとともに、指定管理を受けている地域特産物需要拡大センターや宇津峡公園の運営事業についても、申請時の計画に基づき集客（利用客）と収益の増加を目指す。</p>
財務面	<p>各年度の計画に基づき健全な予算執行を行い、費用対効果、経費節減に努めるとともに、収益事業では収益率を高め公益事業を補完するための十分な収益確保を目指す。</p>
組織面	<p>安定した公社運営を行うための組織を構築するため、組織強化を図るための正職員並びに嘱託職員の増員を行うとともに、スキルアップのための職員教育などにより公社運営を担える人材育成に努める。</p>
その他	特になし

当年度の取組目標に対する意見

所管局	<p>右京区京北地域の農地集積事業、便利屋事業の拡大、地域団体と連携した空き家紹介など、地域の活性化を目指す点は評価できる。</p> <p>今後は、道の駅（ウッディー京北）や宇津峡公園などの収益事業を充実させ、安定的な収益確保を行うことで、経営の安定に努めていただきたい。</p>
------------	--

当年度の取組に対する総括(※)

団体(※)

当年度は、農を中心とする公益事業を展開する中で、優良農地の保全や農業を守る担い手農家の確保・育成に具体的に取り組むため、農林漁業就業相談会に於いて相談のあった1名を受入れ、新規就農者として2年後を目途に自立出来るよう育成に取り組んだ。

農地集積に伴う、『農地中間管理事業制度』による京北地域の窓口業務は9月で終了したが、従来の『農地利用集積円滑化事業』による農地売買や農地貸借など、農地集積に係わる相談を多く受ける事となり、実績として6件の売買物件を次年度へ引継ぐ事となった。

他にも公益事業では、京北3小学校への米飯給食用京北米「コシヒカリ」の供給を行う事が出来、約1,200kgの米の納入ができた事により、「地産地消」に伴う取組の事業量拡大を図る事ができた。

また、京北ふるさとバスに於いては、社会実験に基づくダイヤの一部変更や児童のふるさとバスでの朝の通学、「美山・京北バス旅ルート」の企画運行などにより、前年度よりも約5千人多い7万1千人を超える乗車実績を得る事ができた。

公益事業を補完するための収益事業について、貸館事業では、公社施設の葬祭での利用の他に、寄付いただいた土地・建物を『田舎ぐらし体験施設』として活用し、使用料収益を得る事となったが、初年度につきその施設の整備に伴う初期投資や、公社施設の葬祭での利用が減少している事から、貸館事業全体として収益を伸ばす事はできなかった。

また、「宇津峡公園」については、コテージ及びデイキャンプ場の利用減少に伴い収益を伸ばす事ができず、「道の駅ウッディー京北」の喫茶部門についても、新しい取組を行ってきたが、かかる費用も増加し収益確保に困難を極めた。

平成29年度は、実態に即した事業収支予算計画により、当初よりマイナス予算でスタートしたため、公益事業、収益事業を問わず原価意識と収益確保を意識して取り組んだが、結果としてはプラス収支で事業年度を締めくくる事ができなかった。

なお、京北の『農の学校』としての機能を発揮出来る公社施設の建設については、今後の事業展開や地域内の遊休施設の活用と併せ進める方向となっている。

所管局(※)

指定管理受託施設のうち、道の駅においては、喫茶部門での新規取組により収益が黒字に転じるも利用者数は微減、宇津峡公園においては、利用者数と収益が減少した。いずれも、利用者の獲得と収支の改善が課題である。

一方で、地域への取組については、地元産米の小学校給食への供給が開始するなど成果も出てきているが、田舎の便利屋事業や空家相談、市民農園等の事業については、人材不足が影響して目標数値を割り込んでおり、今後、運営体制の強化が求められる。

外郭団体総合調整会議
(※)

様々な公益事業を実施して、地域振興に貢献している点は評価できる。

一方で、今後の自律化に向けて、速やかな黒字回復を目指して、経費節減等により収益力を強化する必要がある。そのためには、必要に応じて事業の選択と集中を行い、より重要性の高いと判断される事業に人員、経営資源を投入することで、さらに高い事業効果を目指していくことも重要である。

(1)業務に関する取組

目標1 「農地集積事業実績の拡大」

中期経営計画 における取組	農地利用集積円滑化団体として、農地の「中間保有・再配分機能」を活かし、利用権設定による農地の借り受け、貸し付け並びに売買等に関わる事業を推進し、貸手と借手の斡旋業務として担い手農家の規模拡大や、新規就農者の支援活動に積極的に取り組むとともに、地域内の優良農地の保全と景観の維持に努める。
当年度目標	農地中間管理事業に係る地域窓口業務との連携や、地域へのチラシ配布等広報活動により、売買農地や貸借農地の情報収集に努め、引き続き担い手農家や新規就農者へ斡旋する。
当年度結果 (※)	京北地域の窓口として、「農地中間管理機構制度」による農地集積において、貸し手と借り手のマッチングに至るまでの取組を進め、結果として平成29年度は13件の成立実績を残すことができた。 「農地中間管理機構制度」による京北地域の窓口業務は9月で終了したが、公社が従来から農地利用集積円滑化団体として取り組んできた、利用権設定による農地の貸し借りや農地売買については、6件を平成30年度への実績につなぐ事となった。

指標①	貸付実績 (単位：件)							
中期経営計画	平成26年度	平成27年度		平成28年度		平成29年度		
	—	—		5		5		
実績	実績	目標	実績	目標	実績(※)	目標	見込	実績(※)
	0	5	2	5	5	5	—	13

指標②	売買実績 (単位：件)							
中期経営計画	平成26年度	平成27年度		平成28年度		平成29年度		
	—	—		3		3		
実績	実績	目標	実績	目標	実績(※)	目標	見込	実績(※)
	0	3	0	3	0	3	—	0

目標2 「便利屋事業の利用拡大」

中期経営計画 における取組	地域内人口の減少と高齢化に伴う多種多様な作業委託に対する対応、農業後継者不足による農地の荒廃防止等を目的に、地域住民の幅広い要望に応えるため積極的な事業を展開する。
当年度目標	公社広報紙やチラシ配布等により事業PRを行い、地域からの様々な要望により多く応え事業実績の拡大を図る。
当年度結果 (※)	人材登録者の不足等により、依頼作業に対応できない状況が多くあった事などから、昨年度対比で受託件数が50件余り少なかった。 しかしながら、懸案であった作業単価の見直しも行き、受託金額はほぼ前年並の結果を残すことができた。

指標	受託作業数 (単位：件)							
中期経営計画	平成26年度	平成27年度		平成28年度		平成29年度		
	—	—		420		440		
実績	実績	目標	実績	目標	実績(※)	目標	見込	実績(※)
	432	400	394	420	469	440	—	416

目標3 「空家紹介による定住者実績の拡大」

中期経営計画 における取組	京北地域の課題である人口減少の歯止めや、京北地域の活性化のために、250戸を超える空き家の有効活用と定住促進を目標に取組を進める。
当年度目標	京北地域の空き家相談窓口となっている、本公社、京北自治振興会及び右京区役所京北出張所の3事業所が、定期的な会議の開催等により情報の共有化を図り、多くの相談対応を行うことにより定住実績の増加を図る。
当年度結果 (※)	京北地域の空き家相談窓口となっている、右京区役所京北出張所に設置の「かがやき隊」にも情報提供をいただきながら定住促進に取り組んだ。 京北地域全体では11件の定住実績があり、満足な結果を残すことはできなかったが、うち1件が公社としての取扱実績となった。

指標①	空家登録数 (単位：件)							
中期経営計画	平成26年度	平成27年度		平成28年度		平成29年度		
	—	—		25		30		
実績	実績	目標	実績	目標	実績(※)	目標	見込	実績(※)
	9	20	12	25	6	30	—	6

指標②	相談受付数 (単位：件)							
中期経営計画	平成26年度	平成27年度		平成28年度		平成29年度		
	—	—		50		50		
実績	実績	目標	実績	目標	実績(※)	目標	見込	実績(※)
	23	50	20	50	12	50	—	3

指標③	定住実績 (単位：件)							
中期経営計画	平成26年度	平成27年度		平成28年度		平成29年度		
	—	—		7		10		
実績	実績	目標	実績	目標	実績(※)	目標	見込	実績(※)
	0	5	1	7	2	10	—	1

目標4 「貸し農園の利用拡大」

中期経営計画 における取組	京北地域の活性化の取組の一貫として、より親しまれ利用いただける市民農園となるよう管理運営に努めるとともに、収穫祭などの独自のイベントも充実させ、都市住民と地域住民の交流の場としての利用促進を図る。
当年度目標	継続利用者の高齢化による減少を補うため、地域内外のイベントやホームページ等で事業PRを行い、新規利用者の獲得に努めるとともに、全57区画の7割以上の利用を目指す。
当年度結果 (※)	農園を通じて利用者との交流を図り、土・日・祝祭日を中心に京北地域へ来ていただけるよう取り組んだ。 年間を通じ利用者の募集も行ったが、結果的には利用者は昨年対比4名減の18名で、利用区画についても9区画減の26区画の利用であった。

指標①	利用区画 (単位：区画)							
中期経営計画	平成26年度	平成27年度		平成28年度	平成29年度			
	—	—		40	40			
実績	実績	目標	実績	目標	実績(※)	目標	見込	実績(※)
	34	35	32	40	35	40	—	26

指標②	利用者 (単位：件)							
中期経営計画	平成26年度	平成27年度		平成28年度	平成29年度			
	—	—		30	30			
実績	実績	目標	実績	目標	実績(※)	目標	見込	実績(※)
	21	25	22	30	22	30	—	18

(2)財務に関する取組

主要財務数値							(単位:千円)
	平成27年度		平成28年度		平成29年度		備考欄
	予算	実績	予算	実績(※)	予算	実績(※)	
経常収益	230,197	236,479	220,000	225,095	234,424	232,090	
経常費用	229,654	232,104	220,000	233,566	236,446	235,735	
当期経常増減額	543	4,375	0	△ 8,471	△ 2,022	△ 3,645	
当期正味財産増減額	0	605	0	7,106	△ 6,489	△ 7,940	
資産合計	—	175,507	—	178,499	—	173,455	
負債合計	—	38,731	—	34,617	—	37,513	
正味財産	—	136,776	—	143,882	—	135,942	
うち累積損益額	—	106,776	—	113,882	—	105,941	

目標「収益事業による収益確保」

中期経営計画 における取組	公益事業を補完するための、収益事業における収益をより確保するために、事務経費や人件費、原材料の仕入れなど経費の節減に努め費用対効果を追及するとともに、施設利用による貸館事業では、より効果的な収益確保と多くの利用を促すための地域へのPR活動等を行い収益拡大を目指す。
当年度目標	指定管理施設（地域特産物需要拡大センター、宇津峡公園）のPR活動等を行い、収益の拡大を目指す。 なお、平成28年度以降における実績額が目標を大幅に下回るのは、平成27年度まで法人会計で負担していた管理費を当該事業に按分したことによるものである。
当年度結果 (※)	貸館事業では、新たに上弓削町越木に寄付いただいた土地・建物を、10年間の契約により『田舎ぐらし体験施設』として活用する事により、使用料収益を得る事となった。 しかしながら、その施設の整備に伴う初期投資や、収益性の最も高い公社施設の葬祭での利用が、家族葬など葬儀形態の移り変わりにより30件前後に減少している事から、平成29年度の貸館事業全体としては大きく収益を伸ばす事はできなかった。 また、大型アウトドア施設である「宇津峡公園」については、自然と季節感を味わえるイベントの取組みを行うものの、コテージ及びデイキャンプ場の利用減少に伴い収益を伸ばす事ができず、「道の駅ウッディー京北」の喫茶部門についても、新しく仕出し弁当に取り組み、法要等での利用を伸ばしてきたが、かかるコストも大きく、収益確保に困難を極めた。

指標①	道の駅ウッディー京北喫茶部門の純利益の増加							(単位:千円)
中期経営計画	平成26年度	平成27年度		平成28年度		平成29年度		
	—	—		1,200		1,500		
実績	実績	目標	実績	目標	実績(※)	目標	見込	実績(※)
	2,836	973	2,342	1,200	△ 799	1,500	—	75

指標②	宇津峡公園の純利益の増加							(単位:千円)
中期経営計画	平成26年度	平成27年度		平成28年度		平成29年度		
	—	—		424		500		
実績	実績	目標	実績	目標	実績(※)	目標	見込	実績(※)
	△ 2,230	334	1,603	424	403	500	—	194

(公財)きょうと京北ふるさと公社	平成29年度経営計画 兼 経営努力結果
------------------	------------------------

指標③	公社施設の貸館利用に伴う純利益の増加 (単位：千円)							
中期経営計画	平成26年度	平成27年度		平成28年度		平成29年度		
	—	—		800		900		
実績	実績	目標	実績	目標	実績(※)	目標	見込	実績(※)
	407	590	224	800	446	900	—	448

(3)組織に関する取組

目標「安定的な運営のための計画的な人材確保」	
中期経営計画 における取組	<p>本公社の将来を見据え、また京北地域に必要で継続的な事業運営を行うため、定年等による退職者の補填も含め、安定的な身分の職員(正規職員及び嘱託職員)の確保に努める。正規職員については、平成28年度に農に関する事業に伴う正規職員を採用し、その後も、地域雇用の創出として、新卒者の採用も含め各事業部に最低1名の正規職員が配置出来るよう取り組む。</p> <p>嘱託職員については、ウッディー京北における業務の円滑化や正規職員の補佐的な役割が果たせるようパート職員からの変更や、現在定員に達していない地域交通事業部ふるさとバス乗務員の人員確保に努める。</p>
当年度目標	有資格者が必要な、ウッディー京北調理員並びに地域交通事業部ふるさとバス及びスクールバス乗務員について、定年退職による欠員対策等、将来を見据えた恒常的な人材確保に努める。
当年度結果 (※)	<p>正職員については、安定した組織の構築を行うため、各事業部に1名の正職員が配置出来るよう計画しているが、公社の運営状況を見ると困難な状況であり、現状維持となった。</p> <p>嘱託職員についても、退職者の補充が困難な状況であり前年度数を確保する事が出来なかった。</p>

指標①	正職員数 (単位：人)							
中期経営計画	平成26年度	平成27年度		平成28年度		平成29年度		
	—	—		4		5		
実績	実績	目標	実績	目標	実績(※)	目標	見込	実績(※)
	4	4	4	4	4	5	—	4

指標②	嘱託職員数 (単位：人)							
中期経営計画	平成26年度	平成27年度		平成28年度		平成29年度		
	—	—		22		24		
実績	実績	目標	実績	目標	実績(※)	目標	見込	実績(※)
	18	20	16	22	18	24	—	16